

## 広報・教育部門

# 「日明じゅんかんファーム」で新たな学びの場を創出

～「施設見学」×「収穫体験」で、じゅんかん育ちを学ぶ～

北九州市上下水道局

### 受賞事例の概要

- 基幹処理場内に「日明じゅんかんファーム」(約50㎡)を整備し、作物の栽培に取り組みました。
- 従来の施設見学に加え、下水処理水や汚泥由来肥料を活用した「じゅんかん育ちのさつまいも」の収穫体験を通じて、下水道の仕組み・役割、「循環型社会の推進」について、学びの場を創出しました。

#### 従来の施設見学



#### +α



#### 収穫したさつまいもは・・・



### PRポイント!

処理場での畑の整備・下水汚泥資源を活用した作物栽培・収穫体験を含む「循環社会学習」により、下水汚泥資源の理解促進に努めました。また、収穫体験を行った高校の文化祭にて学生が調理・販売することで、消費者に対して安全性を効果的にPRできました。

本取組は、処理場の遊休地を活用することにより、他の自治体においても同様に実施することが可能です。

### 取組の効果!

従来の施設見学で「じゅんかん」を学ぶとともに、+αした体験を通じ「じゅんかん育ち」に触れて身近に感じてもらえたことで、学生が文化祭で自主的にPRを行うなど、高校全体で理解促進に繋がったと感じています。さらに、本取組をイベントにて幅広くPRすることにより、下水汚泥資源のイメージ改善に貢献できたと考えています。

### Key Person



上下水道局 下水道計画課  
前田 洋希

下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けては、利用者である農業従事者や消費者のイメージ改善・理解促進は欠かせません。

今回、調理科を有する市内の高校生を対象に、「じゅんかん育ちのさつまいも」の収穫を通じた循環社会学習を展開しました。将来的には今回の体験を契機に「じゅんかん育ちの食材」に興味・関心を持ってもらうことで、下水汚泥資源の肥料利用の拡大に繋がることを期待しています。

今後も継続的にPR活動を展開し、下水道全体のイメージUPに貢献していきます。